

# 幕別町から元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校幕別分校 校長室より

第84号

令和6年4月8日(月)

## 令和6年度 もよろしくお願ひします

暖かい日が続くようになり、いよいよ令和6年度がスタートしました。

3月に異動する先生方をお見送りしましたが、4月1日新しいスタッフがたくさん着任することとなりました。

4月8日の始業式と、9日の入学式を元気にスタートさせようと、スタッフ全員で1週間準備を進めてきました。

今年度も幕別分校は、生徒の発達の支援のために

- 一人一人の職員が生徒の人格、人権を大切にしかかわり(言葉遣い、かかわり)を心掛け、実践すること
- 生徒一人一人の教育的ニーズを把握した指導を行うこと
- 生徒の良さ、可能性を伸ばす指導・支援をめざし続けること



4月、幕別町は青空が続きました

をグランドデザインに掲げ、教育活動を進めてまいります。

昨年度、幕別町の小学校での駐車場ライン引きや図書館での情報機器活用の講師など、多くの体験の機会をいただきました。今年度も多くの方々との出会いを大切に、学びを進めてまいります。

令和6年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 令和6年度 北海道中札内高等養護学校幕別分校グランドデザイン

**校訓** 自立 共生 克己 実現

中札内高等養護学校幕別分校では、生徒の発達の支援のために  
 ○一人一人の職員が生徒の人格、人権を大切にしかかわり(言葉遣い、かかわり)を心掛け、実践します。  
 ○生徒一人一人の教育的ニーズを把握した指導を行います  
 ○生徒の良さ、可能性を伸ばす指導・支援をめざし続けます。

**学校教育目標 「たくましく 明るく生きる力を育てる」**

学校教育目標の達成のための具体目標

1 自立: 十歳で働き、十歳で暮らす人間      2 共生: 共に生きる、共に育つ人間  
 3 克己: 自らを律し、豊かな思いやりのある人間      4 実現: 自らの夢や希望を実現する人間

**Vision** 何ができるようにするか

☆社会自立  
-働き続けるための勤労意欲、態度等  
-良好な関係を築くためのコミュニケーション力

☆生活自立  
-自立した生活のための知識、技能、習慣等  
-生活を豊かにするための余暇活動

**Plan** 何を学ぶか(教育課程の編成)

☆「作業学習」「教科別の指導」「トレーニング」「特別活動」「特別の教科 道徳」「自立活動」「総合的な探究の時間」  
 ☆教科等横断的な視点をもったカリキュラム  
 ☆ICT教育における学び(情報活用能力の育成)  
 ☆地域の特長についての学び

**Do** どのように学ぶか(教育課程の実施)

☆自主的に学びに向き合う  
 ☆地域での経験から学ぶ(校外学習、実習等)  
 ☆一人一人の生徒に対する学びの保障(自らの学び方を知る)  
 ☆ICTを活用して学ぶ(情報活用能力の育成)  
 ☆地域への貢献を意識しながら学ぶ

たくましく 明るく生きる力

**Action** 次年度以降の計画立案

時代の変化、社会の変化を見据えた次年度以降の計画の立案へ  
 【教育の内容・方法】【保護者や地域の依頼】  
 【教職員のやりがい】【開かれた教育課程】【協働体制の強化】

**Check** 何が身に付いたか(教育課程の評価)

教職員の働き方に関する評価

【生徒の成長】  
 ○個別の教育支援計画、個別の指導計画での評価  
 【各授業】  
 ○(学習活動ごとの)学習評価 ○教育課程の評価  
 【教職員の働き方・やりがい】  
 ○アンケートの実施 ○ストレスチェックによる評価  
 ○学校評価による評価  
 【学校全体】  
 ○年度末評価  
 ○学校評価(教職員、保護者、生徒アンケート)  
 ○学校運営協議会

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

☆保護者の高い関心を取り戻す学級・学年集団  
 ☆全員が人材育成を意図する教職員集団(教例会、学び会)  
 ☆幕別町、学校運営協議会等と一体になり、生徒の教育活動の充実・拡大  
 ☆学校運営に関心の高い保護者(PTA活動の充実)

## 令和6年度 グランドデザイン

左は、令和6年度のグランドデザインです。グランドデザインは、昨今は多くの学校で作成するようになりました。学校の教育を保護者や地域に理解していただくことで、学校の教育は学校だけでやるもの、ではなく、自分たちの社会を創っていくこと…という地域づくりにつながっていくことを願っています。

幕別分校で行う教育は、社会が必要とする人材育成、社会づくりに繋がっているかどうか?ということも多くの方々と考えていくものになれば、と思っています。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。